

廃止措置の計画に係るガイドの整備 (4/4) 廃止措置のエンジニアリングに係るガイドの策定

Establishing Guides relating to a planning of decommissioning

(4/4) Establishing a guide on decommissioning engineering

田村 明男¹, 田中 健一², 清水 祐輔³, *鳥居 和敬⁴

¹ (一社) 原子力安全推進協会, ² (一財) エネルギー総合工学研究所,

³ 原子力エンジニアリング (株), ⁴ 清水建設(株)

廃止措置で実施する除染, 解体及び廃棄物等の処理に係る計画を立案する際の考え方及び手順についての解説をガイドにまとめる。この内容について紹介する。

キーワード: 廃止措置, 準備作業, 除染, 解体, 廃棄物処理

1. 緒言

原子力施設の廃止措置計画に当たっては, 除染, 解体及び廃棄物等の処理に関する計画を立案するためのエンジニアリング業務が必須となる。ここでは, 廃止措置計画立案の参考となるよう, 各項目に関するエンジニアリングの考え方及び手順解説の内容を紹介する。図1に当ガイドの位置付けを示す。

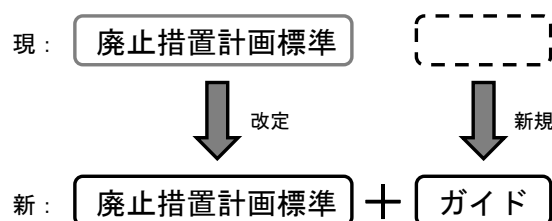


図1 当ガイドの位置付け

2. 検討

2-1. 除染

廃止措置における除染の考え方について, 除染対象物及び除染方法を十分に把握する必要があるため, 各項目を細分類し, 解説をまとめる。また, 除染工事の着手及び完了要件について, 具体的な手順を示す。

2-2. 解体

廃止措置における解体の考え方について, 解体対象物及び解体方法を十分に把握する必要があるため, 各項目を細分類し, 解説をまとめる。また, 解体工事の着手及び完了要件について, 具体的な手順を示す。

2-3. 廃棄物等の処理

廃止措置における廃棄物等処理の着手及び完了要件については, 運転時及び廃止措置時の排出時期, 放射性廃棄物の状態（固体, 液体, 気体）によって確認すべき事項が異なるため, 各項目に分類し, 具体的な手順の洗い出しを行う。

3. 結論

廃止措置のエンジニアリングに係るガイドの策定を実施することにより, 廃止措置計画立案の際に参考となる除染, 解体及び廃棄物等の処理に係る計画の考え方及び手順を示すことができる。これにより, 安全かつ合理的な廃止措置計画が立案できる。

参考文献

[1] 日本原子力学会: 原子力施設の廃止措置の実施: 2014, 2015年11月

[2] 日本原子力学会: 実用発電用原子炉施設等の廃止措置の計画: 2011, 2011年12月

Akio Tamura¹, Ken-ichi Tanaka², Yusuke Shimizu³, *Kazuyuki Torii⁴

¹Japan Nuclear Safety Institute, ²The Institute of Applied Energy, ³Nuclear Engineering Ltd, ⁴Shimizu Corp.,